

# 平成28年度 学校関係者評価書

南アルプス市立落合小学校

## ○ 第1回学校関係者評価委員会の経過

1 日時 平成28年9月16日(金) 午後7時00分～8時30分

2 出席者 学校教育支援者

|         |        |          |       |
|---------|--------|----------|-------|
| 区長会長    | 深澤 岸雄  | 主任児童委員   | 深澤 敏弘 |
| P T A会長 | 篠原 里加子 | P T A副会長 | 望月 巧  |
| 学校長     | 笹本 仁   | 教頭       | 新津 友子 |
| 教務主任    | 石川 明子  |          |       |

## 3 提案内容

- (1) 学校運営の方針
- (2) 児童の様子
- (3) 学校評価結果を活かした2学期学校運営

## 4 協議内容

### (1) 学校評価全体について

- ・ 職員, 児童, 保護者ともに肯定的な回答が多く, 総合的に見て良好である。教職員が課題を共通理解し, 意欲的に取り組んでいることがわかるアンケート結果である。課題について目標や改善策がはっきり示されており, 今後ともより充実した教育活動を展開して欲しい。
- ・ 挨拶やラジオ体操, また地域のお祭り, 御神輿に参加する落合小の子どもたちの様子を見て, 良く育っていると感じます。学校も保護者も協力して教育をしているからだと思います。

### (2) 学習面について

- ・ 「自学」「チャレンジルーム」, 学期ごとの算数や国語のチャレンジテスト, 家読などに取り組み, 生きる力を支える基礎的な学力が向上しつつあり, 今年度は, 学ぶ意欲や自分で課題を見付け, 自ら学び, 主体的に判断し, 行動し, よりよく問題解決する資質や能力を育ていけるように教育活動を進めているということがわかりました。今後ともこの方針で進めてほしいと思います。
- ・ 「自学」が宿題のようになっていくことによって, 子どもたちには「自学」が自主的学習であるとの認識が薄いということが学校として課題の一つになっているということでした。学校では, 「自学」に対する目標(自分で課題を見つけて取り組む)をはっきりさせることで, 取り組むことが意欲や充実感を高める「自学」になるように2学期から進めているとのこと。自主的に学習できる子どもに育ててほしいと思っています。
- ・ 授業の中で意見を言うことについて満足していない児童が3割ほどいるということで, 学校でも2学期からの重点課題として様々な方策をとっていきことをききましたが, 家庭や地域での生活の充実も必要ではないかと思っています。親子での関わりも含め, 生活実感が無いのではないかと危惧しています。生活全体で自然や仕事, 人と人との関わりの中で多様な感じ方に触れ, 子ども自らの考えや感じ方を培っていきます。それらの実感が乏しくなり, 感じる力も乏しくなっていないだろうか。そのような生活経験を充実させ, 感じる力, 考える力を蓄えていくことも言いたいことが言える基礎になると思います。大人が子どもと関わることをもっと大事にしていくことが必要だと思っています。
- ・ 意見については, 間違えるのがイヤという子どももいると思う。何でも言える認められる学校にしてほしいと思います。

### (3) 生活面について

- ・ ラジオ体操にも大勢来て、挨拶も良くしている。ゴミ出しやリサイクルの時も良く挨拶をしています。防災訓練に参加して次から次と消火訓練をしたり、子どもクラブの神輿担ぎなどの様子をみても「かわいいなあ」と思っています。
- ・ コンビニなどでトラブルを起こすこともないと聞いている。地域の方から、「田んぼの水路の石を動かして困るので指導してください。」という話がきたそうですが、子どもたちは田の水調節のための石だということに全く気付いていなかったということでした。学力についての話し合いでも話題が出ましたが、田畑があるところに住んでいても、田畑のことが分かっていない子どもが殆どなのだと思います。総合的な学習の時間に地域の農家の方に畑や仕事を見学させていただきながら学習しているという話を聞きました。そのことについて、孫が話してくれたこともあります。落合には「生きる力のもと」と言っても良い地域教材がたくさんあるので、栽培活動を共にする等、人も含めてとことん利用して地域に出て学習してもらえたらいいと思います。
- ・ 子どもたちが約束できなくなっていると感じます。約束して集まって遊ぶことができない。どうにかして連絡する術を見つける、工夫するということが難しいようです。こういう力も、今、大人が気が付いて身に付けさせてやるべき力だと思うこの頃です。
- ・ 様々な子どもたちがいると思います。100人いたら100様、100色、今も子ども一人一人を大事にしていると思いますが、今後もよろしくお願いします。

### (4) 携帯・スマホ、自転車乗車時のヘルメット着用について

- ・ 個人情報保護について、全校児童、全保護者を対象に学習会をしたことは本当に良いことです。3学期には更に高学年児童と保護者を対象に学習会を実施するという事です。今後も、携帯電話やスマホについて危険の無い使い方ができるように、保護者にも子どもにも学習の機会を作ってほしいと思います。
- ・ ヘルメット着用については、今後もこれまで同様実態を把握しながら100%着用になるように取り組んでほしい。そのことが、交通事故防止にもつながると思います。

### (5) まとめ

- ・ 学力向上、豊かな生活実感づくり、個人情報の保護や個人が強調されすぎたために薄れていくコミュニケーション能力等々、社会の大きな変化の影響が、子どもたちの育ちの隅々まで浸透していることを強く感じる話し合いでした。自己評価書に示した本校の課題と2学期からの重点目標、改善策にしっかりと取り組むとともに、今回出された、豊かな生活実感を育む地域、親子の関わりを創ることができるように学校ができる取組（参観・学習会・総合的な学習・防災等において保護者や地域と関わりながら進める等）を充実させていきたいと考えています。
- ・ 自転車の乗り方や携帯・スマホについては、学校からも情報を発信するとともに、親がしっかり子どもと向き合い責任を持って、子どもの安全に配慮できるように今後ともPTA活動として取り組んでいきたい。子どもたちにも、学習する機会をつくり、自分で考え判断できる子どもを育てていきたい。
- ・ 地域の方々の本校を応援したい気持ちに日々感謝しています。すももの里応援団からの要請に応えたり、または自主的に、消防の方や有志の方が駐車場の草刈りや校庭の整備などをしてくださるなど、応援団の計画以外にも様々な支援をいただいています。
- ・ いじめや不登校の問題については、全職員で子どもたちの様子を把握し、いじめや不登校の無い学校作りに努めるとともに、「こびっとルール」など、児童が自分たちで決めたルールを守りながら自分作り、落合小作りに取り組んでいる子どもたちの心にも応えられるように全力を尽くしていきます。